

チョウバエ類

分類 双翅目糸角亜目チョウバエ科

学名 Psychodidae

英名 Moth-flies
sprinkler sewage filter flies



(チョウバエ類の一種)

■解説^{1) 2)}

本科成虫の体表には毛が密生している。翅は菱形で横脈がなく、脈の上には長毛が生えている。幼虫の前胸部と尾端には気門があり、胸部、腹部の背面には黒褐色の硬背板がある。蛹は褐色で、多数の剛毛が生え、尾端に角状突起を具える。卵は白～淡褐色で、米粒をなし、表面に網目状の紋がある。

本種の最も普通に見られる種類は、ホシチョウバエとオオチョウバエであり、浄化槽、汚泥のたまった下水溝、畜舎の排水溝など、有機物の多い汚れた水域に広く発生する。成虫は一般に夜間活動性で、飛翔力は弱い。

■体長¹⁾

卵 : -

幼虫 : ホシチョウバエ[^] 約 8mm (成熟幼虫), オオチョウバエ[^] 8-9 mm (成熟幼虫)

蛹 : ホシチョウバエ[^] 4-5 mm, オオチョウバエ[^] 5-6 mm

成虫 : ホシチョウバエ[^] 1.3-2mm, オオチョウバエ[^] 4-5 mm

■ライフサイクル¹⁾

卵 : ホシチョウバエ[^] 2 日, オオチョウバエ[^] 2 日 (27°C)

幼虫 : ホシチョウバエ[^] 9-15 日, オオチョウバエ[^] 約 10 日 (27°C)

蛹 : ホシチョウバエ[^] 約 2 日, オオチョウバエ[^] 3-4 日 (27°C)

成虫 : オオチョウバエ[^] 10-15 日 (27°C)

■産卵数²⁾

オオチョウバエ[^] 約 250 卵/♀

【参考文献】

1) 松崎沙和子、武衛和雄：都市害虫百科，p236，朝倉書店(1993)

2) 服部哇作、森谷清樹：不快害虫とその駆除，p162，財団法人日本環境衛生センター(1987)